

2つの居城、ゆかりの地に武将魂が輝く

# 長宗我部元親、見参!



長宗我部家の家紋  
なつかわたばみ  
七鳩酢草

戦国の世に、土佐の一領主から身を起こし、四国をほぼ統一した武将、長宗我部元親。代々の本拠地であった岡豊城、そして海に面した新天地、桂浜は浦戸城。両エリアの史跡やミュージアムを訪ねれば、今の世にも残る元親の輝きが、鮮やかに迫ります。

## おこころ 岡豊と浦戸、それぞれの城

戦国時代を舞台にしたゲームソフト「戦国BASARA」がきっかけとなり、若い歴史ファンにも熱く支持されるようになった長宗我部元親。激動の時代に生まれ、関ヶ原の戦いの前年に没するまで、一度は四国全土をほとんど手中に収めた、土佐の戦国武将です。

長宗我部氏が代々居城とした岡豊城跡のあ

る岡豊山には、県立歴史民俗資料館が建っています。平成20年に「岡豊城跡」が国史跡指定を受け、地元ガイドによるツアーも行われるようになりました。この地は古来より「土佐のまほろば」と呼ばれ、土佐の政治的・文化的中心地だったところです。

一方、元親は四国の覇者を目指したが、豊臣秀吉に敗れ、土佐一国の主にされたのち、高知市桂浜に浦戸城を築城します。ここは初陣で宿敵本山氏に勝利した地であり、海運・海防の要衝の地でもありました。

また、文武に優れた元親は、各地の社寺の修復や領地の寄進もしており、現在も当時の建物を文化財として見ることができます。長宗我部家は元親の後を継いだ盛親の代で歴史の表舞台から姿を消しましたが、長宗我部元

親の残したものは、土佐という国の形そのものだったと言っても過言ではありません。

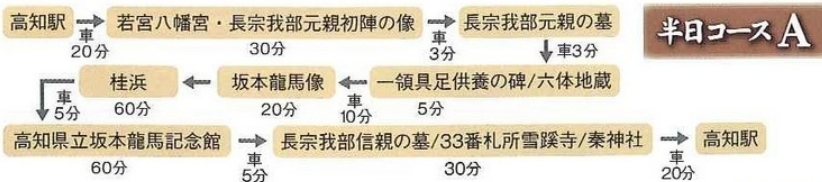
(MAP) P42-E2

### 【長宗我部元親略年譜】

- 1539年 岡豊城に生まれる
- 1560年 初陣で本山氏に勝利
- 1575年 土佐を統一
- 1583年 四国をほぼ統一
- 1585年 秀吉に降り、土佐一国を拝領
- 1586年 豊後戸次川の合戦
- 1591年 浦戸城に移る
- 1592~1593年 文禄・慶長の
- 1597~1598年 役で朝鮮半島出兵
- 1599年 京都にて没す



## 港南エリア - 高知市長浜の初陣、そして浦戸城時代 -



**長宗我部元親の墓**  
愛馬の内記黒(ないきぐろ)も近くで眠る



**浦戸城跡**  
高知県立坂本龍馬記念館周辺に碑と散策路がある



もちちくくん



**若宮八幡宮**  
初陣の戦勝を祈願



**長宗我部元親初陣の像**



**第33番札所 雪蹊寺**  
元親の法号にちなむ名



**秦神社**  
元親を祭神として祀る